

虐待された経験者の“リアルな声” に迫った ドキュメンタリー映画

REAL VOICE

上映会 in 福山

2023

9/17 日

開場 → 13:00 ~

13:30



16:00

虐待は大人になって終わりじゃない

ケアラーやそれに準ずる人をサポートしている団体で構成されるネットワークの発足を記念し、児童虐待を経験した若者総勢 70 名が出演するドキュメンタリー映画「REAL VOICE」上映会をおこないます。

また、本映画終了後に、監督・出演者によるトークセッションも予定しています。ぜひ、この機会に社会的養護や、ケアラーについて、共に考えませんか。

開催場所：iti SETOUCHI (イチセトウチ)



広島県福山市西町 1-1-1 階 iti SETOUCHI 内「Cage」にて開催

🕒 スケジュール

13:30 ~ 映画「REAL VOICE」上映会

90分

15:10 ~ 監督・出演者によるトークセッション+質疑

50分程度

※トークセッションの前に休憩をはさみます。

その際、映画の感想や本日登壇されている監督や出演者の方への質問などを集めます。



Guest ゲスト



山本 昌子

映画「REAL VOICE」監督
ボランティア団体
ACHA プロジェクト 代表

生後4か月から19歳までを乳児院、児童養護施設、自立援助ホームにて育つ。現在は、児童養護施設出身者へ振袖を着る機会を提供するボランティア団体「ACHA プロジェクト」代表として活動する傍ら、児童養護施設出身者3人組によるYouTube「THREEFLAGS-希望の狼煙」メンバーとしても活躍。また、コロナをきっかけに全国の社会的養護出身者や虐待を経験した若者達とオンラインで繋がったり、自宅を開放した居場所事業「まこ HOUSE」をオープンするなど、精力的に活動をおこなっている。



山崎 一馬

映画「REAL VOICE」出演者
広島県出身

保護の経緯

ひとり親の母は兄弟3人を養っていたが経済難で学校にも行けず、平日の昼間に公園で遊んでいたところ補導され、9歳から児童養護施設にあずけられた。

映画出演への想い

「私は家でも施設の生活でも我慢する事が多かったと感じています。現在はミュージカル等を通して生きるエネルギーを燃やしています。きっと、私と同じように辛いことも悲しい事も自分を抑えて我慢してきた方も多いと思います。もっと自由に、そして誰しも輝ける道が待っていることを伝えたいです。」

Coordinator コーディネーター



中村 友紀

NPO 法人どりいむスイッチ 代表
キャリアコンサルタント/公認心理師

2013年にNPO法人どりいむスイッチを立ち上げ、若者の居場所、家族会、就労支援、児童養護施設等で育った若者の支援、居住支援、シェアハウス、自立援助ホーム、リスケリング、若者の仕事づくりなど、地域で足りないものを埋めるように若者支援に取り組んできた。「未来を創るのはこども若者」であり、そのためには家族も支える必要があるという考えのもと、こども若者と家族を支える仲間を増やす活動にも力を入れている。

Application お申込み方法

下記 QR コードから申し込みフォームにて受付中!



QR を読み込むと上記お申込みフォームへ移動します

ひろしま・おかやま若者サポートネットワークとは

広島県と岡山県で生活する社会的養護出身者(ケアリーバー)や、それに準ずる経験をしてきた若者を支援している団体で構成されたネットワーク団体。当事者支援を行う団体のサポートや、一般市民に向けた講演会などを通し、ケアリーバーの認知を拡げるための活動をおこなっている。

主催・問い合わせ先

ひろしま・おかやま若者サポートネットワーク

事務局  特定非営利活動法人 どりいむスイッチ

電話 084-983-1488 メール wakasapo@dreamswitch.or.jp



SHOKO

Instagram アカウント

@shoko_ekaki

このチラシは D シナジーの若者ワーカーが作成しました



休眠預金を活用した事業です